

准教授

篠塚 晃子

SHINOZUKA Akiko

Profile

こども学専攻准教授。東京学芸大学大学院教育学研究科音楽教育専修修了。2007年明和学園短期大学非常勤講師、講師を経て、2022年4月より現職。第10回日本アンサンブルコンクール2台ピアノの部優秀演奏者賞（最高位）及び全音楽譜出版社賞受賞。第16回ローゼンストック国際ピアノコンクール審査員賞受賞。ソロや伴奏の他、Piano Duo Rafaleとしてデュオでの演奏活動を継続して行っており、イーゴリ・レベデフ氏（サンクト=ペテルブルク音楽院）のもとで研鑽を積む。保育現場における子どものためのコンサートや病院での慰問演奏、また乳幼児とその親子を対象としたクラシックライブを展開。日本音楽教育学会、音楽学習学会、群馬音楽協会会員。



学生へメッセージ

・・・良く耳を澄ましてください。今どんな音が聴こえますか？子どもの頃を思い出して、心から感動した時に聴こえた音はどんな音でしたか？最近印象に残った面白い音は何ですか？

保育現場において子どもたちの感性を受け止め、育み、時には引き出す保育者になるためには、保育者自身が豊かな感性を持つことが大切です。ぜひ本学で様々な体験や学修を通して、あなたの感性を磨いていきましょう。

「でもピアノ未経験で不安・・・。」とされている方はいませんか？授業では楽譜の読み方、ピアノの弾き方等、音楽における基礎的な知識や技能を一緒に学んでいきます。上達には個人練習が欠かせませんが、練習する際のコツを授業の中で理解することによって、「弾けるようになった！」「楽しい！」「もっと挑戦してみよう！」と実感できるプラスのスパイラルを巻き起こせたら素敵ですよ。

あなたの将来の夢を掴むために、共に頑張りましょう。